

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

15034

市営住宅ストック総合活用計画推進事業（市営住宅の建替

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	3	豊かな暮らしを支える住環境の整備
施策	1	居住環境の整備
取組方針	1	良好な居住環境の確保

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務
	その他		
会計・ 予算区分	会計		
	款		
	項		
	目		
	大事業		
	中事業		

事業種別	継続	関連個別計画	和歌山市営住宅長寿命化計画		
事業年度	無し ~ 無し	担当課・担当課長・Tel	住宅第1課	大河内 孝則	073-435-1098
事業実施の根拠法令		関連課			

1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要			
	<ul style="list-style-type: none"> 市営岡崎団地の老朽化に伴う建替事業 経年による外壁・屋上の劣化・ひび割れ、コンクリート破片の落下等により入居者等への危険が懸念されるため、外壁改修及び塗替え、屋上の防水工事による景観改善事業 		<ul style="list-style-type: none"> 建替事業 景観改善事業 			
事業内容	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	岡崎団地建設工事（新1号棟） 加太城ヶ崎団地1.2号棟景観改善工事 湊御殿第2団地景観改善工事	・岡崎団地建設工事（新1号棟完成・新2号棟実施設計） ・加太城ヶ崎団地3号棟外壁改修その他工事 ・葉種畑団地外壁改修工事その他工事	・岡崎団地解体撤去工事（中層5, 6, 9, 10号棟） ・加太城ヶ崎団地3号棟外壁改修その他工事（繰越） ・葉種畑団地外壁改修工事その他工事（繰越） ・岡崎団地82号棟解体撤去工事	・岡崎団地建設工事（新2号棟）	・岡崎団地建設工事（新2号棟）	

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	932,100	719,658	1,114,630	796,410	272,247	285,433	140,000	0	0	0
伸び率（%）	177.2%	857.7%	19.6%	10.7%	△75.6%	△64.2%	△48.6%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	31,729	38,762	35,921	36,405	29,858	34,635	33,680	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	31,729	38,762	35,921	36,405	29,858	34,635	33,680	0	0
国庫支出金	324,690	145,756	465,660	313,278	135,924	126,005	52,789	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	592,600	373,400	625,008	467,600	120,000	142,100	87,200	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）	14,810	200,502	23,962	15,532	16,323	17,328	11	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	3.97	4.85	4.46	4.52	3.75	4.35	4.23	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	解体撤去工事請負費240,000千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
老朽化した住宅の改善団地数	団地	目標値	2	2	2	1	1
		実績値	2	1	2		
		達成度(%)	100%	50%	100%	%	%
老朽化した住宅の改善率	%	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	100	80	100		
		達成度(%)	100%	80%	100%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	和歌山市営住宅長寿命化計画に基づき、市営住宅の建替え・景観改善等により、維持管理を行う。
見直し・改善内容	国からの補助金等を活用しながら、計画的に建替え・景観改善等を行っていく。